

(1)事業の概要等

令和6年度 事務事業評価シート

事業番号		B0901-1		事務事業名			障害者活躍支援事業			事業期間			平成30年度		～	令和8年度以降					
実施計画事業																					
実施計画事業以外の事業		○		担当部			福祉部			担当課・担当係											
事業の概要	小牧市まちづくり推進計画(R5年～R8年)	分野別計画編		基本 施策	9	展開 方向	1	事業・予算区分		一般事業		款	3	項	1	目	2	大	11	中	1
	根拠法令 ・個別計画	第4次小牧市障がい者計画								対象 (何・誰を対象に)		市内在住・在勤の障がいのある方									
	目的 (何のために)	障がいのある方が”夢”をもって活躍できる社会の実現に向け、障がいのある方の社会参加を図る機会を創出するとともに、障がいのある方への理解の促進を図る								内容 (どのような方法で)		平成30年度に障がい福祉懇談会を開催し協議を行い、令和元年度から以下の事業を実施した。 ・知的障がい及び発達障がいのある方の作品展である愛知県知的障害児者生活サポート協会が主催する「ふれあいアート展」に後援し、小牧市長賞として選ばれた優秀作品の作者に賞品を授与し、今後の活躍を支援する ・社会法人への委託により障がい者作品展「こまきアール・ブリュット展」を開催する ○令和5年度活動実績 ・ふれあいアート展 出展者数(市内在住者) 14点 入場者数 491名 ・こまきアール・ブリュット展(今年度から巡回展示を開催) 出展数 102点 入場者数 633名(市民ギャラリーのみ) ・奥山優個展 (11/27～12/1 小牧市役所1階で開催) ・オンライン作品展(こまきアール・ブリュット展・奥山優個展) ○令和5年度歳出済額(1,615千円) ・ふれあいアート展表彰記念品料(7節 報償費 6千円) ・印刷製本費(10節 需用費 14千円) ・障がい者作品展開催委託料(12節 委託料 1,595千円) ○令和6年度当初予算(1,749千円) ・ふれあいアート展表彰記念品料(7節 報償費 10千円) ・障がい者作品展広告料(11節 役務費 67千円) ・障がい者作品展開催委託料(12節 委託料 1,672千円)									

(2)事業費

事業費	項目				単位等	R2	R3	R4	R5	R6
	直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	368	371	374	418	
				国・県支出金		1,106	1,106	1,106	1,197	
				その他						
			計(A)		1,474	1,477	1,480	1,615		
			対前年比		%	—	100.20%	100.20%	109.12%	
	予算額			千円	1,690	1,484	1,484	1,619	1,749	
	人件費	正規職員			人	0.1	0.1	0.1	0.1	
		正規職員(平均賃金)			千円	749	749	749	749	
		その他職員			人					
		その他職員(時給×時間)			千円					
計(B)			千円	749	749	749	749			
事業費合計(C=A+B)				千円	2,223	2,226	2,229	2,364		

(3)業績

展開方向における指標の推移	基本施策	9	指標名		単位	方向性	基準値	R5	R6	R7	R8
			1	市が主催又は後援する芸術作品などを発表する機会に出展した障がい者の人数	人	↗	127	116			
	展開方向	1	2								
			3								

指標	指標ほか			単位		R2	R3	R4	R5	R6
	成果指標	市が主催又は後援する芸術作品などを発表する機会に出展した障がい者の人数		目標	-	-	-	-		
				実績	130	140	127	116		
				目標						
				実績						
	活動指標	市が主催又は後援する芸術作品展の開催数		目標	-	-	-	-		
				実績	2	2	2	2		
				目標						
				実績						
	単 位 事 業 あ た り	受益者数(a)			人	130	140	127	116	
		受益者あたり事業費(=C/a)			円	17,096	15,897	17,548	20,375	

(4-1)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維 持(改 善)	事業のボリュームは現状規模で維持するものの、手法の改善をするもの			
	事業の達成状況と課題	・障がいのある方の社会参加を図る機会を創出し、活躍の場を提供することができているが、出展者数が減少傾向にあることから、障がいのある方に出展していただくよう障害者施設等を通じて周知に努めていく ・中央図書館イベントスペースでの展示や市役所、各支所における巡回展示等により、多くの市民に鑑賞していただけており、障がいのある方への理解の促進を図ることができている	今後の実施内容・今後の改善	作品展の開催は、障がいのある方の社会参加を図る機会を創出するだけでなく、障がいのある方への理解促進につながるものと考えられるため、この事業について、今後も引き続き実施していく		
	改善の有無	有	事務事業額評価	千円	節	細節
	これまでの改善内容	・令和3年度からまなび創造館の市民ギャラリーに加え、中央図書館イベントスペースにおいて、優秀作品を展示するとともに表彰式を行うことにより、より多くの方に作品展の周知と作品を見ていただき、障がいのある方への理解促進につながっている ・令和5年度から優秀作品を市役所1階展示スペースや各支所ロビーにおいて巡回展示を行った。また、ホームページにおいて閲覧できるようにし、作品展開催時以外でも気軽に作品を鑑賞できるようにした				

(4-2)事業継続の可能性(事業のスクラップ可能性)

事業分析	評価項目		評価結果	評価結果を判断した理由
	妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	妥当である	障がい者のある方の社会参加を図る機会の創出や障がいのある方への理解の促進を図る必要がある
	有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	一部の住民に影響がある	障がい者が輝ける場を失うとともに、隠れた才能を見出すの機会が無くなることで、障がい者やその家族、市民が影響を受ける
	効率性	サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	現状のままでよい	現在の事業費と同程度の費用が必要である
		外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	現状のままでよい	外部委託を行っている
	公平性	受益者負担は適正か	適正である	受益者負担は無いことから適正である。